

学位審査論文提出に関する手引き

2024

東京医科大学

- I 提出すべき書類および書類作成：(各例 P4～13 を参照し、年月日はすべて西暦として記載してください。)
- 履歴書、論文目録、審査論文要旨（日本文・英文）は、ご提出いただく前に、記載方法などを確認いたしますので、総合事務センター大学院グループにお送りください。
- <ds-dgi@tokyo-med.ac.jp>

1. 学位申請書 1通（推薦主任教授欄に押印）

2. 審査論文 10部

- (1) 査読のある定期刊行雑誌に掲載のもので、原則として英語で記載されたもの。
申請者は論文の筆頭著者でなければなりません。ただし、第2著者が第1著者と同等の貢献をしたことが明記された論文である場合には、申請前に大学院医学研究科委員会で申請可能かどうかを審議します。
- (2) 公表後3年以内のもの。4年以上経過している場合には、大学院医学研究科委員会で審議します。
- (3) 論文は両面プリントで、写真・図はカラーで印刷してください。
- (4) 公表前の場合は掲載証明書のコピーを表紙として、ホチキス留めにしてください。

3. 論文目録 9通（掲載年の新しいほうから順に、例1（4ページ）にしたがって記載）

4. 審査論文要旨（例2～3（5～7ページ）参照）（※フォントサイズ11ptまたは12ptで記載）

日本文 10通 様式にしたがって800～1000字以内で記載してください。

英文 7通 様式にしたがって400～500words以内で記載してください。

5. 履歴書 5通（例4～6（8～10ページ）参照）

- (1) 学歴について：大学入学以降年次を追って記載してください。但し、大学院生は退学、再入学も含めてください。
- (2) 研究歴について：研究期間、研究場所、研究中の役名および職名、指導者の職名および氏名、研究題目を記載してください。（※院生は研究歴の記載は不要です。）
- (3) 職歴について：専任職員（職名）として勤務した経歴を記載してください。

6. 研究歴証明書 1通（論文博士申請者のみで、履歴書に学外の研究歴を明記した場合、その研究機関長の印のあるもの）（例7（11ページ）参照）

7. 戸籍抄本 1通 ※戸籍謄本不可

8. 同意書 ※自署による原本に限る（ワープロ入力およびPDF不可）

著者が複数の場合、共著者の同意書が必要です。複数枚に亘っても結構です。

共著者が学外、外国の場合は様式にしたがって同意を得てください。

9. 推薦書 5通（原本1通、コピー4通）

推薦主任教授から審査委員推薦委員会へ主査副査の推薦。（申請者による代筆不可）

10. 東京医科大学医学会総会発表証明書 1通（例8（12ページ）参照）

医学会総会（春または秋）において一般演題発表をし、医学会事務局より証明書を取得してください。

※学外申請者は必要ありません。

11. 学位論文要旨等電子的公開許諾書 1通 (原本1通) (例9 (13 ページ) 参照)

推薦主任教授の確認を得てください。詳細は東京医科大学図書館のホームページより「東京医科大学学術リポジトリ運用指針」をご確認ください。

※学位規則の一部を改正する省令 (平成 25 年文部科学省令第 5 号) が平成 25 年 3 月 11 日に公布され、平成 25 年 4 月 1 日から施行されることによります。この省令により「博士論文要旨」および「論文審査の結果の要旨」をインターネット利用により公表し、研究成果の電子化とオープンアクセス化を推進することになります。本学学術リポジトリに登録し公開をします。

12. 英語試験合格書 (論文博士申請者のみ)

※IELTS・TOEFL の英語テストのスコア利用について：

次の条件のいずれかを満たしている場合には英語試験が免除となり、英語試験合格書の提出は必要ありません。該当者は学位申請時に当該事項証明書を提出してください。いずれの場合も学位申請日を基準に直近 2 年以内に受験したものに限り有効とします。

条件：IELTS 6.0 以上もしくは TOEFL・iBT 76 点以上

13. 審査論文の PDF ファイル

メール添付、もしくは USB メモリスティック等でお送りください。一次審査で使用します。

14. 掲載誌のインパクトファクター

Journal Citation Reports(JCR)提供の該当部分をデータにてお送りください。

15. 学外申請者

- (1) 研究指導者の推薦書 (本学学長宛) 1 通
- (2) 卒業証明書 (大学院の場合は修了証明書) 1 通
- (3) 研究歴証明書 1 通 (例 7 (11 ページ) 参照)

※ 学位審査申請書類の指定フォームは、下記 URL からダウンロードしてください。

<https://www.tokyo-med.ac.jp/graduate/med/doctor/download.html>

※ 学位審査論文等の提出については、所定の封筒に申請者の氏名、所属分野を記載の上、それぞれ指定されたものを封入し提出して下さい。(封筒は総合事務センター大学院グループにあります。)

【問合せ先】大学 総合事務センター 大学院グループ Tel 03-3351-6141 (内線 705・708)

II 審査手数料

	申請手数料	予備調査料	審査料	要旨公表料	合計
大学院生				20,000 円	20,000 円
教職員	20,000 円		360,000 円	20,000 円	400,000 円
研究生・専攻生 所定単位取得後退学	20,000 円		160,000 円	20,000 円	200,000 円
学外申請者	20,000 円	200,000 円	2,100,000 円	20,000 円	2,340,000 円

※ 審査手数料は申請月第 1 水曜日までに下記口座へお振り込みください。

振込先 三井住友銀行 新宿通支店
学校法人 東京医科大学
普通 0921941

※ 要旨公表料：論文内容の要旨および論文審査結果の要旨公表料

※ 教育職員が退職後学位申請をする場合の申請手数料等は、2 年以内であれば教育職員と同額とし、2 年を超える場合は、学外申請者と同額となります。

※ 本学での研究歴が 3 年以上 4 年未満の教育職員が研究歴を通算し学外申請者として学位申請する場合の申請手数料等については、審査細則をご確認ください。

III 学位申請から学位授与まで

1. 月毎の締め切り：原則として第 1 水曜日、正午。

その日が休日等で受け付けできない場合はその前日とします。

(本学入学試験日は受付できませんので注意してください)

※ 受付場所：大学 総合事務センター大学院グループ（東京都新宿区新宿 6-1-1）

※ 受付時間：平 日 午前 9 時から午後 3 時まで

土曜日 午前 9 時から午前 11 時まで（第 2、4 土曜日は受付できません）

2. 第 1 水曜日までに受け付けた申請書をもとに、第 3 水曜日の大学院医学研究科委員会で一次審査を行います。

3. 一次審査に合格すれば、翌月の第 4 水曜日に公開審査会で発表し審査を受けることとなります。

4. 公開審査会の翌月第 3 水曜日の大学院医学研究科委員会において、二次審査に合格すれば学位取得となります。

5. 学位授与は二次審査が行われた翌月第 3 水曜日の定例教授会の場で行います。

例 1

事務局にて入力しますので記載不要です。

論 文 目 録

報告番号	氏名
	東医 太朗
<p>1. 英文の場合 (特殊な単語を除いて、文頭だけ大文字にしてください。)</p> <p>審査論文 題名 : Human DNA damage checkpoints and their relevance to soft tissue sarcoma (軟部肉腫における DNA checkpoints 制御) ← カッコ書きで日本語訳を記載 著者 : Taro Toi, Ichiro Toi, Jiro Toi, Hanako Toi 掲載誌 : Pathology International (in press, 2008) or 119:110-119 (2007) (電子ジャーナルの場合もこれに準じます。)</p> <p>2. 日本の雑誌で英文の場合 (特殊な単語を除いて、文頭だけ大文字にしてください。)</p> <p>審査論文 題名 : Effects of androgen withdrawal and replacement on the expression of TRPM-2/clustrin in the rat levator ani muscle and prostate (ラット肛門挙筋および前立腺における TRPM-2/clustrin 発現に対する去勢並びにアンドロジェン投与の効果) ← カッコ書きで日本語訳を記載 著者 : Taro Toi, Ichiro Toi, Jiro Toi, Hanako Toi 掲載誌 : Journal of Tokyo Medical University 62:53-63 (2007) ← 英語名</p> <p>3. 日本の雑誌で日本文の場合</p> <p>審査論文 題名 : BMIPP 心筋シンチグラフィの初期像と後期像を用いた急性心筋梗塞の治療効果判定について 著者 : 東医 太郎、東医 一郎、東医 二郎、東医 花子 掲載誌 : 核医学 40: 431-437 (2007) あるいは (2008 年掲載予定)</p> <p>4. On line publication も可能</p> <p>参考論文 ○編 (参考論文の合計)</p> <p>※ 書式は上記に準じてください。 ※ 複数ある場合は、掲載年の新しいものから順に 1. 2. ……と番号をふってください。 ※ 記載した参考論文を提出する必要はありません。審査上、必要とする場合のみ提出していただきます。 ※ 参考論文は、申請する論文との関係の有無は問いませんが、<u>申請者の執筆された論文を記載してください。</u>ただし、症例報告は除きます。</p>	

例 2

審 査 論 文 要 旨

論文提出者氏名： 東医 太朗

1. 英文の場合（特殊な単語を除いて、文頭だけ大文字にしてください。）

審査論文

題 名： Human DNA damage checkpoints and their relevance to soft tissue sarcoma
（軟部肉腫における DNA checkpoints 制御） ← カッコ書きで日本語訳を記載

著 者： Taro Toi, Ichiro Toi, Jiro Toi, Hanako Toi

掲載誌： Pathology International (in press, 2022) or 119:110-119 (2021)
（電子ジャーナルの場合もこれに準じます。）

2. 日本の雑誌で英文の場合（特殊な単語を除いて、文頭だけ大文字にしてください。）

審査論文

題 名： Effects of androgen withdrawal and replacement on the expression of TRPM-2/clustrin in the rat levator ani muscle and prostate
（ラット肛門挙筋および前立腺における TRPM-2/clustrin 発現に対する去勢並びにアンドロジェン投与の効果） ← カッコ書きで日本語訳を記載

著 者： Taro Toi, Ichiro Toi, Jiro Toi, Hanako Toi

掲載誌： Journal of Tokyo Medical University 62:53-63 (2021) ← 英語名

3. 日本の雑誌で日本文の場合

審査論文

題 名： BMIPP 心筋シンチグラフィの初期像と後期像を用いた急性心筋梗塞の治療効果判定について

著 者： 東医 太郎、東医 一郎、東医 二郎、東医 花子

掲載誌： 核医学 40: 431-437 (2007) あるいは（2008年掲載予定）

4. On line publication も可能

※ 【背景と目的】 / 【Background】

【対象および方法】 / 【Methods】

【結果】 / 【Results】

【結論・考察】 / 【Conclusion】 等を区分し記載してください。

※ 規定字数の 8 割程度を目安に記載ください。（日本文:800 文字以上、英文:400words 以上）

※ 日本文は MS 明朝、英文は Century または Times New Roman を使用してください。

文字サイズは 11pt または 12pt とします。

例 3-1

審査論文要旨（日本文）（記載見本）

論文提出者氏名： 東医 花子

審査論文

題 名： SPECT follow-up study of cerebral blood flow changes during donepezil therapy in patients with Alzheimer's disease
(塩酸ドネペジル投与による Alzheimer 病の脳血流変化)

著 者： Hanako Toi, Ichiro Toi, Jiro Toi, Taro Toi

掲載誌： Journal of Tokyo Medical University 16(1):16-23 (2021)

(審査論文要旨：日本語論文の場合 1,000 字以内・英語論文の場合 500 words)

【背景と目的】

アセチルコリンエステラーゼ酵素阻害剤(AchEIs)は、アルツハイマー病(AD)患者の治療に効果的である。しかしながら、AD 患者における塩酸ドネペジル投与後の臨床効果は有効例から無効例まで多様である。神経機能画像法を用いれば、脳機能に対する治療効果の局所的な相関を客観的に評価できる可能性がある。本研究では治療前後の臨床変化と脳血流変化の関連について SPECT (single-photon emission computed tomography)を用いて検討した。

【対象および方法】

対象は、塩酸ドネペジルにて治療された(平均治療期間 12.0±1.4 ヶ月間)AD 患者 51 例(男性 18 例、女性 33 例、平均年齢 77.4±5.2 歳)。全患者において、MMSE(Mini Mental State Examination)変化と脳血流分布の相関について解析した。次に、MMSE 変化により、治療有効群 16 例(男性 7 例、女性 9 例、77.6±6.8 歳)、無効群 35 例(男性 11 例、女性 24 例、76.4±7.0 歳)に分類し、治療前後の SPECT 画像を統計画像解析ソフトの 1 つである 3D-SSP(three-dimensional stereotactic surface projection)を用いて解析した。

【結果】

MMSE 変化と左前頭葉、左大脳辺縁系の相対的脳血流変化の間に有意な相関を認めた。治療前の SPECT において、両群間に有意差は認められなかった。治療後の SPECT において、治療無効群では、治療有効群と比較し、前頭葉外内側面、大脳辺縁系、側頭葉外側下面、帯状回において有意に血流が低下していた。両群において、治療後において前頭葉の相対的血流の有意な増加が認められ、治療有効群においてその傾向は著明であった。

【結論・考察】

ドネペジル治療後の臨床効果の多様性が、脳血流変化、特に前頭葉における脳血流変化と関連していることが示唆された。SPECT 検査は、AD 患者における AchEI 療法の効果判定に有用な検査法の一つであると考えられた。

例 3-2

審査論文要旨（英文）（記載見本）

論文提出者氏名： 東医 花子

審査論文

題名： SPECT follow-up study of cerebral blood flow changes during donepezil therapy in patients with Alzheimer's disease
(塩酸ドネペジル投与による Alzheimer 病の脳血流変化)

著者： Hanako Toi, Ichiro Toi, Jiro Toi, Taro Toi

掲載誌： Journal of Tokyo Medical University 16(1):16-23 (2021)

(審査論文要旨：日本語論文の場合 1,000 字以内・英語論文の場合 500 words)

【Background and purpose】

Treatment with acetylcholinesterase inhibitors (AChEIs) is beneficial for patients with Alzheimer's disease (AD). But the clinical response varies. Functional neuroimaging techniques might allow objective evaluation of the topographic correlates of the effect of therapy on brain functioning. We attempted to evaluate the possible correlation between regional cerebral blood flow (rCBF) differences in patients with AD and response to donepezil hydrochloride (Donepezil) therapy.

【Methods】

The subjects of this study were 51 consecutive patients with AD receiving Donepezil who underwent SPECT at baseline and 10-14 months later. We divided the patients into stabilized (n = 19) and nonstabilized (n = 32) subgroups based on changes in the Mini Mental State Examination (MMSE) score. Analysis of single-photon emission computed tomography (SPECT) data was done using 3-dimensional stereotactic surface projections (3D-SSP) and the stereotactic extraction estimation (SEE) method. We compared differences in rCBF between the two subgroups at baseline and follow-up, and between the baseline and follow-up in each subgroup.

【Results】

Significant correlation was recognized between the mean Z score changes of the left frontal lobe, left limbic lobe, and MMSE change. There were no significant baseline differences in rCBF in any region of the brain between the two subgroups. At the study endpoint, the nonstabilized subgroup showed lower rCBF in the lateral and medial frontal lobes, limbic lobe, lower lateral temporal lobe, and cingulate gyrus compared to the stabilized subgroup. Both patient groups showed a significant post-treatment increase over baseline values in the frontal lobe, and the stabilized group had more extensive and intense increases in the lateral and medial frontal lobes and orbital surface.

【Conclusions】

Our study suggests that the diversity of clinical responses to Donepezil therapy in patients with AD is associated with rCBF changes, mainly in the frontal lobe. SPECT may be a promising tool to assess the impact of AChEI therapy on the brain function of patients with AD.

例 4

履 歴 書 (大学院生用)

ふりがな 氏 名 生年月日	とうい たろう 東医 太郎 (西 曆) 19XX 年 XX 月 XX 日生	①男 女
本 籍	東京都 (※都道府県まで)	
現 住 所	〒XXX-XXXX 東京都〇〇区〇〇X-X-XX Tel : 03-XXXX-XXXX	
<p>学 歴</p> <p>年 月 〇〇大学〇〇学部入学</p> <p>年 月 〇〇大学〇〇学部卒業</p> <p>年 月 第〇〇〇〇〇号をもって医籍登録され医師の免許を受く。</p> <p>年 月 東京医科大学大学院医学研究科〇〇系専攻〇〇学博士課程入学</p> <p>年 月 東京医科大学大学院医学研究科〇〇系専攻〇〇学博士課程単位取得</p> <p>(※院生の場合、研究歴の記載は不要です。)</p> <p>職 歴 (職歴が無い者は余白にしておくこと)</p> <p>年 月 東京医科大学病院卒後臨床研修センターにて初期臨床研修開始</p> <p>年 月 東京医科大学病院専攻医として〇〇〇学講座勤務</p> <p>年 月 東京医科大学病院臨床研究医として〇〇〇学講座勤務</p> <p>年 月 東京医科大学助手に任命され〇〇〇学講座勤務</p> <p>年 月 東京医科大学助教に任命され〇〇〇学分野勤務 を命ぜられ現在に至る</p> <p>※本学在籍中の出張・出向は記載不要です。</p> <div data-bbox="933 1563 1378 1682" style="border: 1px solid gray; background-color: #cccccc; padding: 5px; display: inline-block;"> 2013 年までは講座、 2014 年からは分野表記です。 </div> <p>以上のとおり相違ありません。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 _____ ①</p>		

例 6

履 歴 書（研究生・専攻生用）

ふりがな 氏 名 生年月日	と う い い ち ろ う 東医 一郎 (西 曆) 19XX 年 XX 月 XX 日生	①男 女
本 籍	東京都（※都道府県まで）	
現 住 所	〒XXX-XXXX 東京都〇〇区〇〇X-X-XX Tel : 03-XXXX-XXXX	
<p>学 歴</p> <p>年 月 〇〇大学〇〇学部入学</p> <p>年 月 〇〇大学〇〇学部卒業</p> <p>年 月 第〇〇〇〇〇号をもって医籍登録され医師の免許を受く。</p> <p>研究歴</p> <p>年 月 〇〇大学〇〇講座に於いて研究生（または専攻生）として 〇〇主任教授指導のもとに〇〇〇〇〇〇の研究に従事 現在に至る</p> <p><u>研究生・専攻生以前に本学の専攻医・臨床研究医 または助教(または旧：助手)として在職していた期間については、 例 5 の研究歴を参照し、別個記載してください。</u></p> <p>職 歴</p> <p>年 月 <u>職歴は以前および現在の勤務先を詳細に記載してください。</u></p> <p>以上のおおりに相違ありません。</p> <p>年 月 日</p> <p>氏 名 _____ ①</p>		

例7 (学外の研究歴のある場合提出してください。)

研究歴証明書

氏名 _____

1. 研究場所 ○○○○大学附属○○○○病院

2. 研究年月日および研究中の身分

(途中で中断した場合にはその期間を記載してください。)

○○○○年○月○日～○○○○年○月○日 助教 (又は旧：助手)、臨床研究医 など

3. 指導者職名と氏名

職名 教授 etc. 氏名 ○ ○ ○ ○

4. 研究事項

○○○○○○○○○○○○○○○○○○の研究

上記の研究歴を証明する。

○○○○年○○月○○日

研究機関名 ○○○○大学
職名 学長
氏名 ○ ○ ○ ○ 公印

※研究機関の長の証明としてください。

※研究機関が2ヶ所以上にわたる場合は、それぞれの証明書を作成してください。

例 8

医学会総会発表証明書

現職名_____

氏 名_____

上記の者は、下記の通り医学会総会において一般演題発表を行ったことを証明する。

1. 総会名 : 第 回東京医科大学医学会総会
2. 開催日 : 令和 年 月 日

令和 年 月 日

東京医科大学医学会

会 長 林 由 起 子

※医学会より発行を受けてください。

例 9

学位論文要旨等電子的公開許諾書

年 月 日

東京医科大学長 殿

(ふりがな)

氏 名 : _____ ㊟ (自署)

所 属 : _____

連絡先 : Tel _____

E-mail _____

(該当箇所に☑印を付けてください。)

種別	<input type="checkbox"/> 博士論文 <input type="checkbox"/> 修士論文
論文題目 ※和文題目にはふりがなを振ってください。	
論文題目(訳) ※英文題目の場合は和訳、和文題目の場合は英訳を記入してください。	
電子的公開の可否 【学位論文要旨】及び 【論文審査の結果の要旨】	<p>上記「学位論文要旨」及び「論文審査の結果の要旨」を、「東京医科大学学術リポジトリ運用指針」にしたがって、公開を許諾します。</p> <p>公開時期は、<input type="checkbox"/>学位授与決定後 <input type="checkbox"/>期日指定 (公開： 年 月 日) 備考：</p>
指導教員の確認	<p>上記学位論文等について、上記条件での電子公開を認めます。</p> <p>指導教員氏名 : _____ ㊟ (自署)</p>
備考	<p>※下記については記入不要です。</p> <p>学位記番号 : 甲 ・ 乙 第 号 学位の種類 : 博士課程修了・ 修士課程修了・ 論文博士 学位授与年月日 : 年 月 日 リポジトリサーバーへの論文ファイルアップロード : 年 月 日</p>

【東京医科大学大学院医学研究科】